

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | ガンジー伝 (2)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

ガンジー伝 (2)

ガンジーは、インド人社会のリーダーや弁護士活動にも励み成功者となりますが、白人から嫌われて何回も暴徒に襲われたりします。

1907年8月、南アフリカのインド人社会の不満が頂点に達します。

「ブラック・アクト」と呼ばれる規則ができて、インド人は男も女も身分を登録し、指紋をとらなければならなくなりました。

身分証明書を持たない者は投獄されたり、罰金をとられたり、国外追放になったりします。

ガンジーが初めて不服従運動の概念をあきらかにしたのはこの頃でした。

「サティアグラハ」という新しい抵抗の形は、サンスクリット語のサティア（真理・真実）とアグラハ（主張・把握）という二つの言葉を組み合わせた造語で、一般には「真理の把握」と訳されます。

「蔑まれたり、暴力を振るわれたり、逮捕されたりしても仕返しをはいけない」

「忍耐強くあらねばいけない」

「相手をねじ伏せたりするのではなく、相手の心の鑑を解くのだ」

たくさんのインド人が運動に参加し、政府への登録を拒みました。

ガンジーも法律に定められた登録を拒み投獄されます。

これが最初の投獄体験ですが、その後いく度投獄されてもガンジーは不平を言いませんでした。

むしろ、静かに考え、読書する時間が与えられたと感謝します。

移住に関する不正な法律を試そうとして多くのインド人とともに境界線をわざと越えたりもしました。

何度も投獄されますが、それでもガンジーたちはインド人が不当に扱われていると感じた時には、静かに協力を拒み、そして処罰を受け入れました。

1913年、南アフリカの裁判所が、キリスト教による結婚以外は認めないという決定を下しました。

つまり、ヒンズー教徒であるインド人の妻たちは、妻でなくなり、なんの権利も得られないこととなります。

この事件で、不服従運動に多くの女性が参加してきました。

不法越境が増加し、女性たちの呼びかけによってインド人坑夫たちのストライキが起こります。

何千人ものインド人が逮捕され投獄されましたが、そのストライキは各地に広がっていきます。

ガンジーも逮捕され3ヶ月間監獄に入れられますが、この時もガンジーは投獄されたことを喜びました。

「究極の幸せへの道は、監獄へ行く道にある」

そこで自分の国と宗教のために苦痛を耐え忍ぶところにある」

投獄されるたびに、ガンジーは南アフリカでも、インドでも名が知れ渡り、尊敬を集めていきました。

(3) に続く

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.